

# 劇団鹿殺し

## SEISYUN HYORYUKI 青春漂流記

公演企画書



### 劇団鹿殺し、紀伊國屋ホールに初見参！

紀伊國屋ホール、それは夢の遊眠社や第三舞台、つかこうへい事務所など名だたる先輩劇団がホームとし、名作を発表してきた場所。

そんな新宿伝統の劇場に、路上パフォーマンスからスタートした劇団鹿殺しが満を持して参上します！オリジナル音楽が激しいビートを刻み、人生を謳いあげる鹿殺しの「音楽劇」。

紀伊國屋ホール×音楽劇という異色のコラボレーションを、ぜひご期待ください！

### 高田聖子（劇団☆新感線）、廣川三憲（NYLON100℃）ら豪華ゲスト陣

劇団☆新感線で看板女優として活躍するだけでなく、自身が立ち上げたプロデュースユニット「月影十番勝負」で、様々な演劇人とコラボレートするなど常に新たな挑戦を続けている高田聖子。

その独特な声質で、見たものに強烈な印象を残すNYLON100℃きっての曲者、廣川三憲。

その他、谷山知宏、村木仁ら魅力的な俳優陣をゲストにお迎えした今作、お楽しみに！



# あらすじ

「只今、女が世界を背負ってございます！」

埼玉県郊外にある岸家は、柔道場と接骨院をして生計を立てている。

妻・都志子を早く乳ガンで亡くし、厳格な父・武春は男手で三姉妹を育てた。

三姉妹の長女・夕子は、何事も慎重。実家暮らしで東京へ勤めに出て婚活している。次女・陽子は、明るく活発。大学在学中、同級生の悟と結婚し恵比寿に住む。そして三女・朝子は、父の意思を継ぎ柔道をしている。芽が出ないまま、地元の警備会社（セキュリティータナカ）へ勤め柔道が続いている—

ある日、三女・朝子と恋仲にあった柔道部コーチ（村雲治朗）より、「実は妻と子供がいる」と告げられる。十数年にわたりコーチのために辛い柔道が続けていた朝子は意気消沈。そんな朝子の元に次女・陽子がやって来る。「夫・悟がウーパールーパーを育てて売る商売に手を出し失敗した。もう堪忍袋の尾が切れた。別れる。」と言う。陽子と共に、実家へ帰る朝子。すると長女・夕子が柔道場の畳に手を尽き

「お父さん、婚活が終了しました」

と報告している。五万円も出してすがった占い師に「一年以内にいい人が現れる」といわれ、今日がちょうどまる一年。この一年、何ひとつも起こらなかったという。

父・武春は、揃った三姉妹を見て柔道場に倒れ込んだ。泣きながら「一本！」と笑っている。武春のそんな姿を初めて見た三姉妹は、その日父と酒を飲んだ。家族の再出発を祝う楽しい夜だ。明日は武春の60歳の誕生日だった。

が……あくる日、母・都志子の遺影と共に父・武春は姿を消した。

劇団鹿殺しがお送りする夏の新作は、現代の女の生き様。青山円形劇場、そして一年半ぶりとなる大阪凱旋、ABCホールを舞台に縦横無尽に歌・ダンス・柔道でかき回す。

「世界を作っているのは女なんだから！」



（「ベルゼブブ兄弟」@赤坂レッドシアター）



（「電車は血で走る」@青山円形劇場）



（「赤とうがらし帝国」@駅前劇場）



（「僕を愛ちて。～燃える湿原と音楽～

@本多劇場）

# 公演概要

■作 丸尾丸一郎

■演出 菜月チョビ

■音楽 入交星士 オレノグラフィティ

■出演

菜月チョビ／丸尾丸一郎／オレノグラフィティ／山岸門人／橋 輝／傳田うに／円山チカ／坂本けこ美／山口加菜  
浅野康之／水野伽奈子／鷺沼恵美子／峰 ゆとり／近藤 茶（以上、劇団鹿殺し）

高田聖子（劇団☆新感線）

廣川三憲（NYLON100℃）

谷山知宏（花組芝居）

村木 仁

■会場・日程

<東京公演／紀伊國屋ホール>

1月19日(木) 19:00～(P)  
1月20日(金) 19:00～(P)  
1月21日(土) 14:00～  
1月22日(日) 14:00～  
1月23日(月) 19:00～  
1月24日(火) 休演日  
1月25日(水) 19:00～  
1月26日(木) 19:00～  
1月27日(金) 19:00～  
1月28日(土) 14:00～／19:00～  
1月29日(日) 14:00～

<大阪公演／ABCホール>

2月10日(金) 19:00～(P)  
2月11日(土) 13:00～／18:00～  
2月12日(日) 13:00～／17:00～

(P…プレビュー公演)

■チケット

前売／当日 5,000円  
学生 3,500円（一般発売後、劇団鹿殺しHPのみ受付）  
プレビュー公演 4,000円

劇団先行販売 10月22日(土)～30日(日)

一般発売 11月20日(日)10:00～

劇団鹿殺しHP、チケットぴあ、イープラス、  
ローソンチケット、Confetti（東京公演のみ）、  
CNプレイガイド（大阪公演のみ）にて取り扱い

■スタッフ

舞台監督／松壽耕治 舞台美術／加藤まゆこ  
照明／黒尾芳昭 音響／鏑木知宏・末谷あずさ  
演出助手／福本朝子 衣裳／赤穂美咲  
舞台撮影／彩高堂 舞台写真／和田咲子  
宣伝写真／江森康之 制作協力／SUI  
制作／高橋戦車  
運営協力（大阪公演）／サンライズプロモーション大阪  
企画製作／劇団鹿殺し  
主催／株式会社オフィス鹿

■お問い合わせ

株式会社 オフィス鹿

〒155-0032 東京都世田谷区代沢5-10-14 秋田ハウス101

(tel : 03-6804-0064 / fax : 03-6804-0074 / e-mail :

office@shika564.com)